

## 学校だより

6月号

<http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-chu/>

## 中央林間小学校 創立40周年

校長 吉田 美佳

1982年（昭和57年4月1日）、中央林間小学校が誕生し、6月21日に式典を開催し、この日を開校記念日と設定しました。昭和、平成、そして令和の時代を経験した中央林間小学校は2021年（令和3年）の今年、創立40周年を迎えます。

創設当初、文部省の体力づくり研究指定を受けたことから、自由で創造的な遊びの場としてアスレチック形式の「はだしの広場」を設置しました。アイデアあふれる体育の授業と日常的な体づくりの実践によって、全国体育優良校として文部大臣から表彰され、今でも校長室に大きな賞状が掲げてあります。その後、飼育小屋、視聴覚室、PCルーム、第二図書室などが整備され、保護者による「よみきかせの会」などの保護者ボランティア活動が始まりました。また、学校開校に向けて、内山地区をはじめ当時の多くの方々が、通学路の設定・準備に携わり、危険箇所には保護者・地域の方が交通整理員として児童の登下校の安全を見守ってくれていたそうです。

現在の中央林間小学校は、児童数が増加し、校庭を縮小して校舎増築工事を行っており、残念ながら当時の「はだしの広場」や飼育小屋は撤去されています。ですが、プールや視聴覚室・PCルームは今も活用しています。また、当時の「よみきかせの会」や交通整理員のような保護者・地域の方々の協力・応援は、今では学童農園・除菌・清掃・交通・図書館・クラブボランティアという形で受け継がれています。（今年度はコロナで活動休止中のボランティアもあります）時代に合わせ変化する学校を、家庭・地域をはじめ、多くの方々が支えてくださっていることに感謝いたします。そして来年度完成予定の新校舎は、中央林間小学校の年表に刻まれていくことになります。

開校当時10歳だった子どもたちは今年50歳となり、さまざまな分野で活躍されたり、地域の支えとなったり、今の社会を創り上げていることと思います。今の子どもたちは10年後、20年後、40年後の未来をどのように描いているのでしょうか。

先日ラジオのニュースで、「オーストラリアで発見された3つの新種の甲虫に、伝説の鳥ポケモンである“フリーザー・ファイヤー・サンダー”にちなんだ名前が付けられた」と耳にしました。『ポケットモンスター』の世界に憧れ、若い頃ポケモントレーナーになるという夢を持っていたオーストラリアの大学院生が、新種の甲虫の命名にポケモンの名前を提案したそうです。彼はインタビューで、「サトシから学んだ『あきらめなければ夢は叶う』ということ胸に、これからも研究を続けます。今の夢は、新種をたくさん発見し、その昆虫だけを展示する博物館を作ることです。」と答えていました。このニュースを聞いて、「子どもの頃の夢を大切にしながら大人になり、別の形で夢をかなえた人もいるんだ」という驚きとともに、「子どもたちには夢、志、自信を持ち続けてほしい」と思いました。

これからの未来社会を築いていくのは間違いなく今の子どもたちです。創立40周年の一年が、「未来を創る子どもたち」の夢を後押しする一年間となるよう、教職員一同「チーム中林小」となって学校生活を支えていきたいと思ひます。

